

鍼灸医学ベトナム国際セミナー

市川治療室 No.355.2018.02

日越外交関係樹立45周年記念事業の一つとして、鍼灸医学ベトナム国際セミナーが1月18日（木）首都ハノイで開催され、日本側の約30名の一人として参加してきました。

セミナーは公益社団法人日本鍼灸師会、公益財団法人国際医療技術財団（JIMTEF）が外務省、厚生労働省、経済産業省の後援を得て、在ベトナム日本国特命全権大使の梅田邦夫様の出席の下、リゾートホテルの会議室で開催されました。

ベトナム側からはベトナム政府保健省伝統医学局とベトナム国立鍼灸病院の参加の他、ベトナム全土から医師・鍼灸師ら約120名の参加がありました。

セミナーの目的は、日本とベトナム両国の鍼灸情報交換・交流で、日本鍼灸師会会長の仲野弥和氏は「世界中で利用されている鍼灸、なかでも繊細で効果が高く、痛みが少ない日本の「はり・きゅう」などの情報をその講演で紹介しました。

ベトナム側からは保健省の局長の挨拶の後、ベトナム国立鍼灸病院院長のグエン・バー・クアン氏が「ベトナムの鍼灸の歴史と発展」を講演で紹介されました。

午後からは、日本鍼灸の六つのデモンストレーションが行われ、参加者からは日本鍼灸に対しての高い関心が感じられました。

- 1・経絡治療（岡部系）
- 2・経絡治療（井上系）
- 3・刺絡
- 4・灸
- 5・擦過鍼
- 6・美容鍼灸

この様子は、テレビ局や朝日新聞の東南アジア支局から取材され、テレビ放映や紙面に載ったそうです。在ベトナム日本国大使館ホームページ、大使館facebookにも記事が掲載されています。実演の様子は、you tubeで観ることができます。

（私が上半身裸、伏臥位で実技3・刺絡の患者役で出ています）

http://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Shinkyuubunya_kokusaisemina.html

<https://www.facebook.com/embassyofjapaninvietnam>

昔からベトナムでは鍼灸を病気の予防と治療によく使ってきたという日本と似た歴史があり、1967年にベトナム鍼灸協会が設立され鍼灸を普及したようです。

更に1982年にはベトナム保健省管轄の国立鍼灸病院（単科病院）が建設され、現在は病床数655床、345名の職員が勤務している規模になったとの事で、鍼灸が国民に広く普及されている点が日本とは大きく異なります。

セミナーは、国際医療技術財団、日本鍼灸師会、国際開発救援財団、ベトナム政府保健省伝統医学局、ベトナム国

立鍼灸病院の共同宣言をもって無事終了しました。

- ・ 私たちはお互いの伝統医療を尊重します。
- ・ 私たちは私たちの伝統医療がベトナム国民医療制度へ統合されることを支援し、国民の健康増進に寄与することを目指します。
- ・ 私たちは鍼灸医療に関する医療技術協力プロジェクトを企画立案し、双方が協力して実践します。

セミナー当日の夜は、在ベトナム日本国大使館でベトナムと日本の関係者出席のパーティーに、翌日（19日）は国立鍼灸病院で脳出血後遺症から腰痛、甲状腺手術での鍼麻酔などの現場を視察しました。